

式辞

暖かい春の日差しが輝く季節が巡ってきました。本日ここに、田中武夫（たなか たけお）安来市長様をはじめとするご来賓の方々と保護者の皆様のご臨席をいただき、令和三年度、第百二十一回 島根県立安来高等学校入学式を挙行できますことを、大変うれしく思います。

本日お忙しい中ご臨席賜りましたご来賓の皆様方、高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

安来高校は昨年創立百二十周年の節目を祝った県内で六番目の歴史と伝統を持つ高校です。今年には創立百二十一年目の新たなスタートの年になります。そのスタートの年に本校の新たな一員として、ただいま入学を許可しました百五十三名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。安来高校普通科第七十五期となる皆さんの入学を心から歓迎します。

これまでお子様を温かく支えてこられました保護者・ご家族の皆様、新たな決意を胸に秘めたお子様の凜とした姿に感慨もひとしおのことと思います。

お子様のご入学、誠におめでとうございませう。

さて、新入生の皆さん。九年間の義務教育を終え、自らの目標と意思を持ってこの安来高校を選んでくれてありがとうございます。今日から高校生活が始まります。希望を持って入学してこられた皆さんに期待を込めて二つのこととお話します。

一つ目は、本校の教育目標「きびしく」「高く」「美しく」についてです。これは昭和三十八年に掲げられた「きびしく学べ、高く思え、美しく生きよ」のスローガンからはじまり、その後も脈々と受け継がれ、現在では、きびしく自らを律し、目標と信念を高く持ち、美しく豊かに生きる、の教育目標として、今日も我々安来高校の教育の根幹をなすものとなっています。

高校生の本分の一番目は学習であることは間違いありません。が、それだけでは充実した高校生活とはなり得ません。部活動や生徒会活動、地域での活動など様々な活動を通して、他者と協力して一つの目標に向かう姿勢や異年齢の多様な人々との関わりなど、豊かな人間性も育んでもらいたいと思います。これら諸活動で培った団結力・集中力・達成感や、限られた時間を使って目標達成を目指す姿勢は、学習活動においても活かされ、そこに質の高い文武両立が達成できます。「きびしく」は自分自身を律して責任ある行動が

とれ、よりよい社会の作り手として、自分自身と向き合う態度。「高く」は新たな価値の創造のために理想を高く持ち、安易に妥協することなくその実現に向けて様々な課題と向き合うスキル。

「美しく」は地域や周囲への感謝の気持ちを持ち多様な価値観を認め合う共生社会の構成員となるべく他者と向き合う価値観を。限られた時間を有効に使い文武両立を果たすことで、教育目標を体現するこのような力を育成して欲しいと思います。

二つ目です。今年のスローガンを「挑戦・熱意・創意・誠意」としました。高い志を持ち自分の夢に向けて挑戦してください。明治維新で多くの人材を輩出した松下村塾の吉田松陰の言葉に「立志は万事の根源なり」というものがあります。志は人が行動するための基盤です。

「自分はこうありたい」という心の持ち方こそ「志」であり、志のある人は生き生きと生活しています。人は志を持ち、その実現に向けて努力する過程において感動的な体験をしたときに、生きがいを強く感じるものです。将来の目標が定めれば、それを実現させるために、今、何をどのような方法でやらなければならないかという、自らの課題とそれに取り組む手立てが見えてきます。志を立てたらその夢に向かって熱意を持って挑戦

を続けてください。その過程で創意工夫をこらし誠意を持って取り組めば、必ず何か得られるものがあるはずです。例え思うような結果が得られなくても熱意・創意・誠意を持って取り組む姿は、周りの友人や先生からも応援され、良き友、良き師との出会いにつながり、その出会いは一生の宝となることと思います。熱意・創意・誠意を持って挑戦を続け、一生の宝となる豊かな人間関係を築いていってほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様にお問い合わせ申し上げます。縁あって私どもは、向こう三年間、大切なお子様のお世話をさせて頂くこととなりました。お預かりしたお子様の希望実現に向けて全力で応援・支援していく所存でございます。そのためには、学校と保護者の皆様との密接な連携と相互信頼が不可欠です。各ご家庭におかれましても学校の方針をご理解の上、ご協力を賜りますようお願いいたします。

新入生の皆さん、ようこそ安来高校へ。新たな伝統を紡ぐべく、きびしく・高く・美しく、ともに頑張りましょう。

令和三年四月九日

島根県立安来高等学校長

柳樂 眞悟